



2024年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月13日

上場会社名 ジェイドグループ株式会社
コード番号 3558 URL <https://www.jade-group.jp/ir>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 田中 裕輔
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部ディレクター (氏名) 高志 成俊
四半期報告書提出予定日 2023年10月13日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 03-5465-8022

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第2四半期の連結業績(2023年3月1日～2023年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	商品取扱高※1		売上高		EBITDA※2		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する四半期 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	12,877		6,584		894		798		804		458	
2023年2月期第2四半期												

(注) 包括利益 2024年2月期第2四半期 513百万円 (%) 2023年2月期第2四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	41.59	40.18
2023年2月期第2四半期		

1 e-3PL(物流受託)を除く販売金額

2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却額

(注) 当社は、2023年2月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年2月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2024年2月期第2四半期	10,536		6,058		56.4	544.07		
2023年2月期	9,972		5,933		58.9	527.10		

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 5,939百万円 2023年2月期 5,868百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
2023年2月期		0.00		0.00	0.00	
2024年2月期		0.00				
2024年2月期(予想)						

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2024年2月期の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	取扱高(相殺前)※1		商品取扱高		売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	30,000 ~ 32,500	23.0 ~ 33.2			14,000	33.8	1,750	76.5	1,750	81.5	1,400	11.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1 内部取引相殺前取扱高

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期2Q	11,487,360 株	2023年2月期	11,487,360 株
期末自己株式数	2024年2月期2Q	570,363 株	2023年2月期	353,331 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期2Q	11,032,784 株	2023年2月期2Q	11,268,463 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日において判断したものであります。

なお、前第2四半期累計期間は四半期財務諸表を作成し、四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)		対前年 増減率	(参考情報) (単位:千円)	
	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)				
商品取扱高	12,877,843	(100.0%)	—	10,748,471	(100.0%)
売上高(注)3	6,584,284	(51.1%)	—	4,450,272	(41.4%)
売上総利益	4,982,206	(38.7%)	—	3,767,484	(35.1%)
EBITDA(注)1、2	894,539	(6.9%)	—	492,572	(4.6%)
営業利益	798,205	(6.2%)	—	407,582	(3.8%)
経常利益	804,126	(6.2%)	—	378,015	(3.5%)
親会社株主に帰属する四半 期純利益	458,817	(3.6%)	—	410,496	(3.8%)

(注) 1. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれんの償却額

- 当社グループでは、2020年2月期よりののれんの償却が発生しておりますが、今後とも事業の成長加速のためM&Aを積極的に検討していく方針であり、のれんの償却が増加する可能性があります。この点を考慮し、EBITDAを参考指標として開示しております。
- ECモール事業の受託型については販売された商品の手数料を、プラットフォーム事業についてはサービスの手数料を売上高として計上しております。
- ()内は商品取扱高に対する割合を記載しております。
- 前第3四半期連結累計期間より、従来記載しておりました出荷件数、平均出荷単価、平均商品単価は当社のみの数値であるため記載しておりません。

各事業別の業績は以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)			
	ロコンド	RBKJ	相殺消去	連結
商品取扱高	10,748,471	—	—	—

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)			
	ロコンド	RBKJ	相殺消去	連結
商品取扱高	11,429,953	2,639,589	1,191,698	12,877,843

当第2四半期連結累計期間におけるマクロ経済環境は新型コロナウイルス感染症の需要供給面への影響が徐々に解消したものの、当四半期後半の猛暑による秋冬物の動きの伸び悩み、消費者物価指数の上昇、各国の金融政策の変更に伴う景気減速懸念、地政学リスクの高まりなど不透明感も増しております。

その一方で、当社グループの主たる事業領域であるファッションEC市場に関しては2021年度は前年比+9%、ファッション市場全体に占めるEC割合、いわゆるEC化率も21%まで増加し(経済産業省調べ)引き続き成長して行く市場であると見込まれています。またECだけでなく店舗や物流などあらゆる領域をデジタル化を通じて効率化していくDX(デジタルトランスフォーメーション)需要も年々増加し、流通小売市場における国内DX投資額は2020年から30年までの10年間で5.6倍と大幅に増えて行く事が見込まれています(富士カメラ総研調べ)。

このような状況下、当社グループはECモール事業、プラットフォーム(DX)事業、ブランド事業という相互補完的かつ各々が競争優位性を有する3つの事業を展開しております。

ECモール事業における主軸のサービス「靴を買うならロコンド」でおなじみのLOCOND0.jpではウェブ広告等を通じた認知度向上とブランド数や品揃えの充実という需要供給両面での向上に引き続き努めて参りました。加えて当社グループは様々な消費者ニーズを捉えるためM&Aを通じた「多モール展開」戦略を実行しておりますが、現在はアパレルメインのFashion Walker、サッカー専門店のSWS、海外バイヤーの販売プラットフォームであるwajaと合計4つのECモールを展開し、これらも同様に需要供給両面での向上を進めて参りました。尚、これらのウェブサイトは全て異なるものの、その裏側であるITインフラや物流インフラは全て一元化されているため、複数のモールを効率的に運営できるのが当社グループの強みになります。

プラットフォーム (DX) 事業においては、自社公式EC運営 (BOEM)、倉庫受託 (e-3PL)、店舗POSレジ (LOCOPOS)、店舗欠品フォロー (LOCOCHOC) など、ファッション業界において必要とされるITインフラと物流インフラを全て有しているため一括受託 (ALL-IN-ONE) が可能である事、またe-3PLにおきましては他のEC企業ではどこも対応できていない、百貨店や卸への出荷も全て対応できる事が当社グループの強みになります。また、BOEMの新バージョン (BOEM3.0) への移行とLOCOPOS、LOCOCHOCの機能を増強し、利用企業様の利便性向上の実現に努めて参りました。

ブランド事業においては、2020年以降、様々なインフルエンサーとコラボレーションブランド企画を展開し、売上増とジェイドグループの認知度向上の2つを実現しながらインフルエンサーマーケティングノウハウを蓄積して参りました。さらに、前連結会計年度からは伊藤忠商事株式会社との新設子会社であるRBKJ株式会社 (出資比率はジェイドグループ66%、伊藤忠商事34%) を通じてグローバルスポーツブランドのReebok国内販売権を獲得し、ReebokのEC、直営店舗、卸事業を展開して参りました。Reebok事業の展開に際しては、弊社のプラットフォーム事業を活用し、PMI (Post Merger Integration: 買収後の統合) を予定通り行うことでスムーズな事業の立ち上げを実現するとともに、SixTONESとのコラボレーション企画等新たな施策を押し出すことでブランドの更なる知名度向上を実現してまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間においてはReebok事業が牽引し、商品取扱高は12,877,843千円 (前第2四半期累計期間は10,748,471千円) と+19.8%で着地致しました。売上高は6,584,284千円 (前第2四半期累計期間は4,450,272千円) と+48.0%となりました。売上総利益は4,982,206千円 (前第2四半期累計期間は3,767,484千円) と+32.2%となりました。当社グループは実質的な成長度合や収益性を評価するため、売上総利益から変動費用を差し引いた「限界利益 (= 商品取扱高 × 限界利益率)」という指標を重視しておりますが、限界利益は商品取扱高の増加、および物流フローの効率化やウェブ広告の効率化、各種手数料の引き下げ等の変動費用の抑制、及びReebok事業が順調に開始されたことで2,527,513千円 (前第2四半期累計期間は1,744,142千円) と+44.9%で着地できました。限界利益から「固定費用」を差し引いた数値が各種利益項目になりますが、固定費用面はReebok事業の開始に伴う賃料の増加によって当第2四半期連結累計期間の地代家賃等は817,561千円 (前第2四半期累計期間は605,834千円) と増加しましたが、広告宣伝費を中心にコストコントロールを進めた結果、211,727千円の増加に留めることができました。なお、LOCOPORT III に関しましては、昨年第2四半期からの完全稼働によっておよそ10万平方メートルの保管面積を確保できたため、少なくとも2025年度までは倉庫家賃は固定化できる見込みです。結果、EBITDAは894,539千円 (前第2四半期累計期間は492,572千円)、営業利益は798,205千円 (前第2四半期累計期間は407,582千円)、経常利益は804,126千円 (前第2四半期累計期間は378,015千円) と、倉庫家賃増の影響を受けながらも増益で着地できました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は458,817千円 (前第2四半期累計期間は410,496千円の四半期純利益) となりました。

なお、文中の前第2四半期累計期間の金額は参考情報として記載しております。

各事業別の業績は以下のとおりであります。

事業別	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)			
	商品取扱高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)
ECモール事業	8,250,803	64.1	3,602,068	54.7
うち、自社モール	6,973,476	54.2	—	—
うち、他社モール	1,277,326	9.9	—	—
プラットフォーム事業	3,435,277	26.7	1,839,563	27.9
その他事業(店舗・卸等)	1,191,763	9.2	1,142,652	17.4
合計	12,877,843	100.0	6,584,284	100.0

- (注) 1. 当社グループの事業セグメントは、靴を中心としたファッション関連商品等の販売、企画、仕入事業の単一セグメントであるため、セグメント別の販売実績の記載はしておりません。
2. 「自社モール」とは、「LOCONDO.jp」「FASHIONWALKER」「SWS」「waja bazar」の取扱高等になります。
3. 「他社モール」とは、「楽天市場」及び「Yahoo!ショッピング」など他社モールにて展開する取扱高等になります。
4. ECモール事業の受託型に係る売上高については、販売された商品の手数料を受託販売手数料として計上しております。
5. 前連結会計年度より、従来記載しておりました受託型商品取扱高比率は当社のみの数値であるため記載しておりません。
6. 各事業別の状況は以下の通りです。なお、前第2四半期累計期間は四半期財務諸表を作成し、四半期連結財務諸表を作成していないため、各事業別の状況の前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

① ECモール事業

ECモール事業につきましては、複数ブランドをロコンドグループの屋号でもって、通販サイト経由で販売する事業で、販売在庫の中には受託型と買取型の2種類があります。一部の海外輸入ブランドや当社が自社開発しているD2Cブランドは買取型に当たります。商品取扱高は商品の販売価格を基に記載しておりますが、売上高は買取型については商品の販売価格を計上し、受託型については販売された商品の手数料を受託販売手数料として計上しております。「LOCONDO.jp」、「FASHIONWALKER」、「SWS」、「waja bazar」の運営、「楽天市場」、「Yahoo!ショッピング」など他社モールへの出店を行っており、当第2四半期連結累計期間においては出店ブランド数3,389となり、商品取扱高は8,250,803千円、売上高は3,602,068千円となりました。

② プラットフォーム事業

プラットフォーム事業につきましては、ブランドの自社公式EC支援(BOEM)、倉庫受託(e-3PL)、店舗の欠品及び品揃え補強(LOCOCHOC)の運営等を行っております。「BOEM」における支援ブランド数は当第2四半期連結会計期間末時点で34ブランドとなりました。これにより、当第2四半期連結累計期間の商品取扱高は3,435,277千円、売上高は1,839,563千円となりました。

なお、倉庫受託(e-3PL)に関しては、ユーザーへの販売を伴わない商品補充等の出荷も含まれるため、その出荷額は商品取扱高には含めておりません。

③ その他事業(店舗・卸等)

店舗・卸事業につきましては、主にRBKJにて、リアル店舗での販売及び小売店への販売を行っております。当該事業の当第2四半期連結累計期間の商品取扱高は1,191,763千円、売上高は1,142,652千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

① 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて766,285千円増加し、8,461,315千円となりました。これは主に、RBKJの商品拡充により商品が670,863千円増加したことによるものであります。

② 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて202,226千円減少し、2,074,953千円となりました。これは主に、繰延税金資産が154,698千円減少したことによるものであります。

③ 負債合計

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて439,068千円増加し、4,477,396千円となりました。これは主に、ECサービスの取引拡大により受託販売預り金が448,515千円増加したことによるものであります。

④ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて124,991千円増加し、6,058,872千円となりました。これは主に、自己株式が384,588千円増加(純資産の減少)した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が458,817千円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は3,492,816千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は403,614千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益の計上757,220千円、棚卸資産が681,151千円増加した一方で、受託販売預り金が448,515千円増加したことによるものであります。

b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は125,322千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出58,340千円、敷金及び保証金の差入による支出33,000千円によるものであります。

c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は397,986千円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出400,914千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の通期の業績予想につきましては、2023年4月14日に公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,659,281	3,540,316
売掛金	781,393	1,058,896
受取手形	60,258	19,100
電子記録債権	63,753	25
商品	2,234,437	2,905,301
貯蔵品	36,035	46,322
その他	859,868	891,353
流動資産合計	7,695,029	8,461,315
固定資産		
有形固定資産	450,893	421,967
無形固定資産		
のれん	160,197	136,677
その他	196,144	187,228
無形固定資産合計	356,342	323,905
投資その他の資産		
関係会社株式	1,000	1,000
長期前払費用	134,429	128,599
長期貸付金	10,000	10,000
敷金及び保証金	788,935	808,600
繰延税金資産	535,578	380,880
投資その他の資産合計	1,469,943	1,329,080
固定資産合計	2,277,179	2,074,953
資産合計	9,972,209	10,536,268
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	988,909	1,042,352
受託販売預り金	934,501	1,383,017
未払金	1,107,262	976,082
1年内返済予定の長期借入金	102,000	102,000
未払法人税等	57,646	82,868
賞与引当金	13,020	13,020
役員賞与引当金	9,890	7,963
契約負債	116,477	76,946
その他	158,320	236,200
流動負債合計	3,488,027	3,920,450
固定負債		
長期借入金	544,000	544,000
繰延税金負債	6,300	12,945
固定負債合計	550,300	556,945
負債合計	4,038,327	4,477,396
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	3,385,511	3,382,113
利益剰余金	2,752,434	3,211,252
自己株式	△319,151	△703,739
株主資本合計	5,868,795	5,939,626
新株予約権	3,118	3,089
非支配株主持分	61,967	116,157
純資産合計	5,933,881	6,058,872
負債純資産合計	9,972,209	10,536,268

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上高	6,584,284
売上原価	1,602,077
売上総利益	4,982,206
販売費及び一般管理費	4,184,001
営業利益	798,205
営業外収益	
受取利息	273
為替差益	2,094
助成金収入	2,670
受取手数料	4,979
その他	1,358
営業外収益合計	11,374
営業外費用	
支払利息	3,256
自己株式取得費用	1,957
その他	238
営業外費用合計	5,452
経常利益	804,126
特別利益	
固定資産売却益	10
特別利益合計	10
特別損失	
和解金	46,917
特別損失合計	46,917
税金等調整前四半期純利益	757,220
法人税、住民税及び事業税	82,868
法人税等調整額	161,344
法人税等合計	244,212
四半期純利益	513,007
非支配株主に帰属する四半期純利益	54,189
親会社株主に帰属する四半期純利益	458,817

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	513,007
四半期包括利益	513,007
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	458,817
非支配株主に係る四半期包括利益	54,189

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	757,220
減価償却費	72,813
のれん償却額	23,520
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,927
受取利息及び受取配当金	△273
支払利息	3,256
為替差損益(△は益)	△2,169
固定資産売却益	△10
和解金	46,917
売上債権の増減額(△は増加)	△172,615
棚卸資産の増減額(△は増加)	△681,151
未収入金の増減額(△は増加)	11,691
仕入債務の増減額(△は減少)	53,443
受託販売預り金の増減額(△は減少)	448,515
未払金の増減額(△は減少)	△128,698
未払消費税等の増減額(△は減少)	67,382
その他	△74,808
小計	423,105
利息及び配当金の受取額	273
利息の支払額	△3,256
法人税等の支払額	△57,630
法人税等の還付額	41,121
営業活動によるキャッシュ・フロー	403,614
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△58,340
無形固定資産の取得による支出	△25,992
貸付けによる支出	△10,000
敷金及び保証金の差入による支出	△33,000
敷金及び保証金の回収による収入	2,000
その他	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△125,322
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△400,914
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	2,928
財務活動によるキャッシュ・フロー	△397,986
現金及び現金同等物に係る換算差額	729
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△118,965
現金及び現金同等物の期首残高	3,611,781
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,492,816

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年4月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式233,400株の取得を行いました。

この自己株式の取得等により、当第2四半期連結累計期間において自己株式が384,588千円増加し、当第2四半期連結会計期末において自己株式が703,739千円となっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、靴を中心としたファッション関連商品等の販売、企画、仕入事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第2四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

(単位:千円)

	ECモール事業	プラットフォーム事業	その他事業(店舗・卸等)	合計
顧客との契約から生じる収益	3,602,068	1,839,563	1,142,652	6,584,284
外部顧客への売上高	3,602,068	1,839,563	1,142,652	6,584,284

(重要な後発事象)

該当事項はありません。